

すてきな
みんなの
えがおが



ゆ り ぐ み

大 阪 市 立 墨 江 幼 稚 園

2025. 7 No.4

生き物との出会い

預かり事業の先生が子ども達にと、カタツムリの赤ちゃんをご自宅のお庭から連れて来てくださいました。虫メガネを準備すると、「小さい目!」「触覚がふたつある」と、図鑑の写真と比べて観察していました。「何歳かな」と推測したり、「白いウンコと黒いウンコがあるで。オスとメスで違うのかな」と自分なりに考えたり想像したりしていました。食べたものと同じ色のフンが出ることを知らせると、ニンジンを食べた後のオレンジ色のフンを発見した子どもが驚いて知らせてくれました。

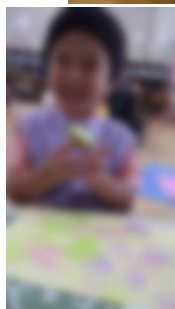
カブトムシの孵化にも興味や関心がもてるよう、保育室の傍で観察できるようにしました。毎日ケースの中を覗き込み、変化の様子を興味をもって観察する姿が見られました。

生き物に出会い、心が動く体験は生き物への親しみや愛情を育てるだけではなく、「自分なりに想像すること」や「自分で考えること」など学びに向かう力になります。テレビや動画で間接的な体験がしやすい時代ですが、幼稚園で自然と直接触れる機会や環境を設けることは大きな意味をもっていると改めて感じています。

七夕飾り

短冊の模様は、ジャガイモの芋版です。虫に食べられて穴が空いたものや、緑色になって食べられないジャガイモを使いました。短冊には字に興味や関心がもてるよう、自分の名前を墨でかく経験を取り入れました。クラスのお願い事は、子どもたちと話し合い、「プールでみんながもぐれるようになりますように」になりました。

笹飾りは、色の組み合わせ、形、大きさ、数、長さなどに関心をもち、友達と楽しみながらつくることができるような物を選びました。渦巻きの飾りでは「紙を動かしながら切る」ことを意識させました。製作活動を通して、はさみをうまく扱う姿が見られるようになってきています。



プール遊び

「シャワーの時、真ん中に立てたで」「今日はビート板つかってみる!」回を重ねるごとに自分なりの目標や楽しみ方を見つける子どもたち。一緒に過ごす中で友達が挑戦する姿に刺激を受け、恐る恐るでも挑戦しようとする子どもたちの姿は逞しく、愛おしさも感じます。「頑張れー!」の声援、「やったー!」「いいねー!」の掛け声や拍手など、友達や先生からの応援の力も絶大です。

プール参観では温かく見守ってくださり、ありがとうございました。お家の方に見てもらおう嬉しさで頑張る力が沸いてきます!

プール遊びの経験で育った心で2学期も楽しんで体を動かして遊び、新しいことや少し難しいことにもみんなで挑戦していきたいと思います。クラス全体で活動する機会を通して、連帯感、一体感を感じ、友達とのつながりの大切さに気付くよう支えていきます。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

